防災だより「もし今日、地震が起きたら。あなたは最初に何をする？」

令和８年１１月
静岡高校総務課

【特集】２０２６年は「昭和南海地震」から８０年

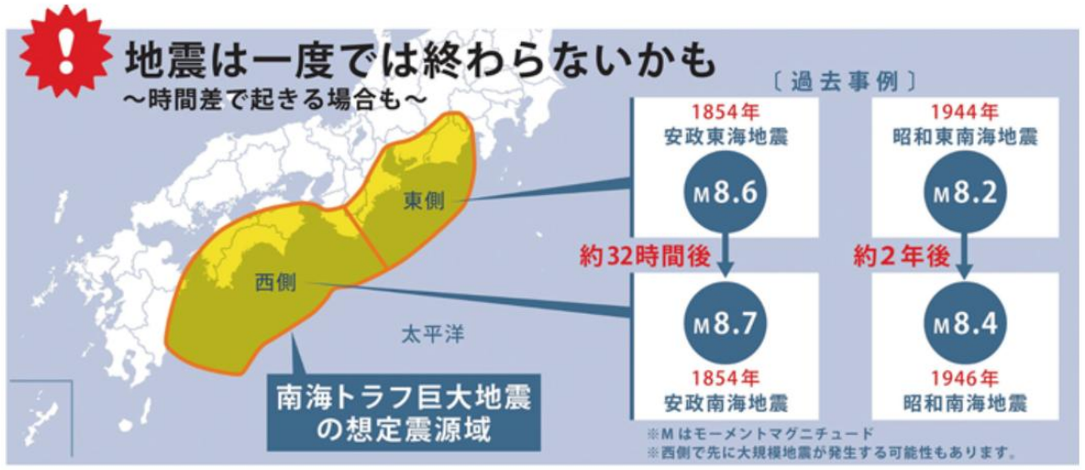
８０年前の地震を、８０年後の私たちの防災に。

ところで、「東海地震」と「南海トラフ地震」は別モノ？同じモノ？

①　そもそも南海トラフって何？

静岡県の沖から紀伊半島、四国沖へと続くプレートの境界。ここでは、過去に巨大地震が繰り返し発生しています。**「東海地震」は、この南海トラフの東側**で起こる地震として考えられてきました。

②　過去の地震の事例。８０年前、何が起きた？



過去２つの大地震は、32 時間後、２年後に東側と西側に分かれて起きています。

③　地震がきた。じゃあ、あなたはどうする？

まず自分の身を守る。津波の危険があれば高い場所へ逃げる。正しい情報を確認する。

「自宅・学校・通学路のどこが危険？」「放課後、学校の帰り道地震が起きたらどうする？」
いろいろなケースを想定して、もしもの時に、少しでも落ち着いて行動できるように、準備をすることが大切です。

災害時に実際にあったフェイクニュース

・東日本大震災
千葉県市原市の石油製油所で火災が発生。その際、「爆発で有害物質が発生し、雨と一緒に降ってくる」というデマが拡散。それを受けて、「外出禁止令が出された」という噂も一気にひろがった。

・熊本地震（２０１６年）
「動物園からライオンが逃げ出した」という画像付きの投稿が SNS で拡散。実際にはデマで、投稿者は偽計業務妨害の疑いで逮捕された。

・能登半島地震
SNS に「息子がタンスの下敷きになって動けない」という虚偽の救助要請が投稿された。投稿された住所をもとに警察が出動する事態となり、本当に救助を必要とする人への対応にも影響しかねない問題となった。

・静岡県の台風１５号（２０２２年）
「ドローンで撮影した静岡県の水害」として、街が水没した画像が SNS で拡散。しかし、その画像は AI で作られた偽画像だった。

災害時、SNS の情報をそのまま信じていませんか？
「すぐに信じない」「すぐに拡散しない」。
発信元を確認することも、命を守るための大切な防災力です。

地震は止められない。でも、備えることはできる。

静岡県第４次地震被害想定では、南海トラフ地震が発生した場合、被害の 95％が回復するまでに、電力は約１週間、上下水道は約５週間かかると想定されています。しかし、能登半島地震の実情を踏まえると、さらに長期化する恐れもあります。

住まいの耐震性に問題がなく、安全が確保できれば、避難所ではなく自宅で生活を続けることもできます。

例えば飲料水



トイレの備蓄も重要





県民だより防災特集―静岡防災だよりー（２０２５年３月）より抜粋

災害用伝言ダイヤルを知っていますか？

災害発生時に LINE 上部に出る**「LINE 安否確認」**をみたことがあるでしょうか？防災啓発の一環として、９月１日の「防災の日」などに、一日限定の「体験版」が配信されることがあるようです。

LINE だけでなく、伝言ダイヤル「１７１」も下記の期間で体験できます。家族にあなたの無事を伝えるため、家族の無事をしるために、ぜひ家族での話題にしてください。



12月6日(日)「地域防災の日」です。

静岡県では昭和５８年度から、毎年「地震防災強化月間」期間中に「地域防災の日」を定め、自主防災組織を主体とした**地域防災訓練が行われています。**将来の地域防災の担い手として、また防災意識の向上のために、地域防災訓練に積極的に参加しましょう。

（防災訓練参加報告書の提出の必要はありませんが、12 月 7 日（月）の SHR で参加調べを行います。）

近い将来一人暮らしをするかもしれません。

自分一人になったとき

自分の命を守れるか･･･周りの人を助けられるか･･･

防災力も、生き抜くための実力です。

この機会に「自分は大丈夫」を疑ってみませんか？

もしものために今！

インストールから始めよう！

静岡県総合防災アプリ
静岡県防災